



「その場しのぎ」は、やめにしよう!

今はちょうど第3回定期試験が返却されている頃かと思います。(私自身もそうでしたが)テストが終わってすぐは「もっと早くから準備をしておけばよかったなあ」とか「授業中もっと集中して受けていれば良かったなあ」とか「先生や友達にもっと質問しておけば良かったなあ」と反省している人は少なくないと思います。その反省を次に生かすためにも、これからの生活で「その場しのぎ」を止めにしてみてもいいでしょう。



試験での「その場しのぎ」は「一夜漬け」ですね。試験に向けて準備が整わないまま試験前日を迎えるとき、最後の悪あがきの様に頑張ることは無駄ではないけれど、その知識が後日頭に残っているかということそうではないのがほとんどです。私は皆さんと一緒に「WORDBOX」の英単語テストを受けていますが、その場しのぎにならないよう、毎日少しずつ取り組むようにしています。英単語テストの前日には満点が取れる自信が持てるまで取り組んでいます。おかげで第1回から第17回までの英単語テストの平均点は19.25点です！(自慢)

普段の学習での「その場しのぎ」は、各教科からの課題を「答えを写す」ことですかね。問題を解いていて答えが分からなかったとき、赤ペンなどを使って答えを写すわけですが、写すだけで終わったらそれこそ何のための誰のための勉強？ですよね。答えを写すだけではダメなのは皆さんも当然分かっているけれど、課題を提出するためにはしょうがない作業なのかもしれません。でも、これをして何の役に立つのでしょうか。だったらその時間をひとつの課題をちゃんと理解する時間にあてた方が将来的に見れば良いと思います。自分の課題への取り組みが「その場しのぎ」になっていると感じる人は、各教科の先生たちに相談してみましょ。今の自分のレベルに適したアドバイスをもらって、課題のひとつひとつをもう少し丁寧に取り組んでみませんか。これまでの学習で課題が中途半端になっていた人は前向きに挑戦してみてください。

「その場しのぎ」は人間関係でも止めた方がいいですね。忙しくて自分の心に余裕がないと、どうしても「その場しのぎ」の対応をしがちです。でもそうすると、その後の対応が余計に大変になったり、修復不可能になったりしてしまいます。なので、普段から「その場しのぎ」をせず、自分の心に余裕をもって相手の気持ちに寄り添った対応を心がけていきたいものです。

1年次主任 平岩岳実

～12月行事予定～ 今年もあと1カ月!

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	日			16	月	B	きずなの日 LHRなし
2	月	B	「しなやかな心の育成」講演会	17	火	B	
3	火	B		18	水	B	生徒協議会
4	水	B		19	木	B	
5	木	B		20	金	B	
6	金	B	キャリアガイダンス進学編	21	土		
7	土			22	日		
8	日			23	月	A	
9	月	A		24	火	行事	休業前集会 報告会 大掃除
10	火	A		25	水		冬季休業開始(~1/6)
11	水	A		26	木		
12	木	A		27	金		
13	金	A	バイク免許所有者集会	28	土		
14	土		土曜講座(課題論文中間発表会観覧)	29	日		校内完全閉鎖(~1/3)
15	日			30	月		
				31	火		

保護者の皆様へ

「年末の交通事故防止県民運動」 12月に入り年間でも最も日が短い時期となりました。また、師走ともいわれるように年末を迎え何かと慌ただしい時期でもあります。県内でも「年末の交通事故防止県民運動」が始まっております。今年度前期終了時点で自転車・バイクの交通事故件数が14件あり、例年より多くなっております。1年次生でも、ひとつ間違えば命を落としかねない自転車の事故が数件報告されています。自転車ヘルメットの着用率は、登校の様子を見るとかなり高くなっておりますが、自宅を出るところからヘルメットを着用しているかという決してそうではないようです。「自分の身は自分で守る」ようこの機会にご家庭においても交通事故防止についてご確認くださいませよう宜しくお願いします。

◎先生方からの寄稿 今月は2組の担任 田邊優樹先生、副担任 中島勲先生です。

無限に存在しそうで有限な大切なもの

田邊 優樹

皆さんはスキューバダイビングって知っていますか？タンク背負って海に潜るあれです。スキューバダイビングをするにはライセンスが必要で、そのランクに応じて潜水可能な深度が違います。観光地などでよく目にする初心者向けのスキューバ体験はライセンス不要で、初めてでも危険が無いように水深10m付近までしか潜りません。この程度では、お魚がいるなあくらいにしかありません。まあ、偉そうなこと言っている私も大して潜れないわけですが。その日の海のコンディションや地形にも寄りますが、だいたい水深20mくらいになると重力をあまり感じなくなり、3次元をどの方向にも動けます。この万能感はものすごいです(語彙力)。さらに水深30mを超えると陽の光が届かなくなってきたり、視界が深い藍色になり、魚が光輝き始めます。その光景は得も言われぬ幻想的な世界です。他にも、運がいいとイルカやウミガメと泳ぐこともできます。船の上から見る可愛らしいイルカとは違って、イルカの方強さやスピードを体感でき、恐怖すら感じるほど。それにウミガメって、水中ではめちゃくちゃ速いんですよ！

突然ですが、一般的な4年制大学の休日は1年でどれくらいあるか知っていますか？私は多すぎだろ！と思い、学部1年の時に実際に暦を数えました。だいたいですが、1年の半分くらいはお休みです。それに気づいた私は、この4年間でしか出来ない大きなこと(スキューバライセンス取得や海外旅行など)をしようと思いました。皆さんの大学での4年間もしくは6年間は非常に大切な時間です。学間に遊びに部活に、こんなにも自分のためだけに時間を使える期間というのは、恐らく大学が最後です。今は辛いことも多くあると思いますが、乗り越えた先には楽しいキャンパスライフが待っています。人生辛いことばかりじゃありません。我慢強く、グッと耐えて自分が思い描く未来を掴んでください。



信念をもつ人になる！

中島 勲

これまで山梨では5校の高校で教えてきました。以前に勤務した学校で、進路室に東京都内にある私立大学の担当者が訪問して来た際、「山梨県の高校生は、他県の生徒さんと比べても礼儀正しくきちんとしている生徒が多いですね。」とお褒めの言葉をいただいて嬉しかったことを時折思い出します。都内の伝統ある有名な私立大学の方でした。当時の勤務校の卒業生が進学してお世話になっていた訳ではないことから、お世辞でなく本心だったと思います。皆さん西高生も、一般には礼儀正しくきちんとしているイメージがあります。「きちんとしている」必要性をあまり求めなくなっている、価値観が多様化した昨今、改めてきちんとすることは、自分自身にとって、きっと皆さん自身の財産になるものです。

ところで、国際バカロレア(IB)には10の学習者像があります。Inquirers(探究する人)、Knowledgeable(知識のある人)、Thinkers(考える人)、Communicators(コミュニケーションができる人)、Principled(信念をもつ人)、Open-minded(心を開く人)、Caring(思いやりのある人)、Risk-takers(挑戦する人)、Balanced(バランスのとれた人)、Reflective(振り返りができる人)。1年次の皆さんは、この10のlearner profileの中で、目指したい、こうなりたいという学習者像を一つ挙げるとしたら何ですか？私はPrincipled(信念をもつ人)です。なかなかできないのでいつもこれを答えます。IBの教育・指導方針は、あまり無理をしなくてもよいと言われるようになった今の時代にとって、必要なことを掲げてくれているように感じます。

人が「きちんとすること」「信念をもつこと」については、いくら時代が変化したとしても忘れ去られて消えてしまわないでほしいものです。大谷翔平氏ではなくて、イチロー氏がインタビューで語っていました。「時代だからって、何でもかんでも片付けないでほしい。」私が思うのは、時代とともに変化させなくてはならない部分と、時代が変わっても変える必要のないことを見極めることが、これから私たちには一層大事になってくるということです。